

## 学校関係者評価報告書

学校法人 福田学園  
大阪工業技術専門学校  
自己点検・評価委員会  
学校関係者評価委員会

学校法人福田学園 大阪工業技術専門学校(自己点検・評価委員会)が実施した平成28年度自己点検・評価表に基づき、下記日時に開催した『学校関係者評価委員会』に於いて以下の意見と評価がありました事を報告致します。今後は、この外部委員から頂きました意見等を真摯に受け止め、より良い学校運営と教育に努めて参ります。

- 開催日時:平成29年9月6日(月) 15:00～17:00
- 場 所 :学校法人福田学園(1号館3階小会議室)
- 学校関係者評価委員 出席者 (敬称略)

【評価委員】	所 属	役職等
松山義広	県立奈良朱雀高等学校	建築工学科長
松下靖弘	株式会社金山工務店	経営企画本部長
河野正道	住友精密工業株式会社	総務人事部 アシスタントマネージャー
【内部委員】	所 属	役職等
伊東和幸	大阪工業技術専門学校	副校長
浜野哲二	大阪工業技術専門学校	学園事務局部長
宗林 功	大阪工業技術専門学校	教務課長
竹中智司	大阪工業技術専門学校	建築系教務科長
吉田裕彦	大阪工業技術専門学校	企画開発局長
吉松秀典	大阪工業技術専門学校	広報担当課長
善才雅夫	大阪工業技術専門学校	進路支援室長

### ◆ 学校関係者評価と意見

A:十分に満足できる B:満足できる C:やや不十分である D:不十分である

項 目	関係者意見(本校が抽出した小項目に対する主な意見、及びその他の意見)	総合評価 (基準)
【基準1】 教育理念・目的・育 成人材像等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建築士の試験センター発表データより、1級建築士の合格者数が、西日本の専門学校では、昨年に引き続き今年もNo1であり、全国でもNo2と言う実績は素晴らしい事である。</li> <li>・卒業生が組織する『OCT校友会』の事務局が学校内にある事で、各支部からの情報収集も含め可能な限り活躍状況を把握しているようだが、全てを把握する事は難しいことから、SNS等を上手く活用した取り組みを検討してみてもどうか。</li> </ul>	A
【基準2】 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門学校での人材確保や育成では、一般企業と違い、業界に於ける専門的な知識や技術のみならず教える力も必要となり、そう簡単には採用とされないことなども含め中長期的な問題に対して、新たな部署(企画開発局)を発足させたことは良いことだと思う。</li> <li>・人事評価は、学校のみならず一般企業に於いても難しく、なかなかドライに徹する事が出来ない現状がある。人事研修会への参加で研鑽し、モデルケースを作成してみてもどうか。</li> </ul>	A
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建築系の学科の場合、カリキュラムの体系的な編成に関しては、建築士試験受験に係る科目を組み込む必要性があり、それをベースとして各学科の特性</li> </ul>	

<p>【基準3】 教育活動</p>	<p>を生かした内容にしている。このことについて、教育課程編成委員会で外部の方から意見等を頂戴しているのであれば問題なし。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学科の中に、コースが別途設定されていると選択したコース以外についての意識が欠如しているように思われる。学校としては、関連性を意識付けるようにしているが、学生には響いていない事実もあり授業内で改善して行く。</li> <li>・学生から授業評価(ファカルティチェック)として、すべての授業科目について実施しており、その結果を集約して、それぞれの教員の学生評価を把握していることは良いことである。</li> <li>・各研修としては、専門領域の知識や技術、及び教授力の向上について、外部の団体等が開催するものに教員を参加させている。それについて、何らかの効果測定が出来れば、レベルが図れるのではないか。</li> </ul>	<p>B</p>
<p>【基準4】 教育成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・機械系の学科に於いて、求人状況が好調にも拘わらず、就職意識の乏しい学生が例年になく多く在籍していた為、学校全体としての就職率が良くなかった。(就職内定率:約90%) 次年度は、是非とも100%を目指して頂きたい。</li> <li>・全学的な資格試験や学科単位での資格試験は、一応の結果を残しているがそうでない資格試験(建築施工管理技士や電気工事士等)は全国平均並み合格率である。これに対して、キャリアデザインの授業時に就職意識の向上と資格取得の必要性を根気よく説いてください。</li> </ul>	<p>B</p>
<p>【基準5】 学生支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体制としては、全体支援よりも個別支援を重視し、業界の動向や仕事内容・働く意義を個々に説明している。また、本校単独の企業説明会(学内)の開催に依って就職への意識付けを図っている。例年の課題として取り上げられる基礎学力の低下についても、サポート体制を整えている。世の中全体に言える事だが、コミュニケーションが取れない者や挨拶さえも出来ない者が多いことに対する問題を除けば十分であると評価できる。</li> <li>・普段は担任制のもと保護者との連携体制を整え、また年間計画の中で保護者懇談会を開催しているが、遠隔地(九州・中国・四国、他)からの学生も少なく、全保護者の出席とはならない。今後は、地方での開催も検討してください。</li> </ul>	<p>A</p>
<p>【基準6】 教育環境</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生数に応じた設備(実習機器)を整え、計画的に入れ替え等の管理をしている。また、現代のインターネット社会に対応した教育環境のインフラ整備として、校舎全館を無線LAN化した。他校と比べると世の中の中環境に合わせた迅速な対応であると思われるが、高校に於いても先進的に整備している所もあるので、更なる専門学校としての整備充実を期待します。</li> </ul>	<p>A</p>
<p>【基準7】 学生の募集と受け入れ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的には、18歳人口の減少とは反対に、年々学生数が増えて来ている。外国人留学生も少しづつではあるが増える傾向にある。しかしながら、一部の学科に限っては、見た目の華やかさや楽しそうなイメージがなく、定員の充足どころか一定数を超える事が出来ていない。その学科の卒業後にある仕事を明確にする事が先決で、広報的にイメージ優先になってしまうと入学後のギャップにより中途退学の要因の一つになり兼ねないので要注意である。</li> <li>また、小中学生への広報も重要な課題として、未来社会形成のためにも建築業界全体の発展活動も図って行ってください。</li> </ul>	<p>B</p>
<p>【基準8】 財務</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・財務管理は安定しており十分に評価できる。</li> <li>・財務情報の公開・会計監査等を適正に行っているので問題なし。</li> </ul>	<p>A</p>
<p>【基準9】 法令等の遵守</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係法令を遵守し適正な学校運営を行っており、また、個人情報保護に関する管理体制も整えている。更に、スクールプライバシーマークの認証取得、及び個人情報保護士の資格取得者が在職しているので全く問題なし。</li> </ul>	<p>A</p>
<p>【基準10】 社会貢献</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・厚労省が推進する委託訓練事業を受託して、中高年者の再雇用教育訓練をしていた時期があったが、現在では、昼間に於ける教室の確保と併せて教員の確保が難しく実施出来ていない。引き続き、今後も夜間や土日を利用したキャリア</li> </ul>	<p>B</p>

	アップの講座開発を検討してください。	
【基準11】 国際交流	・外国人留学生の募集環境は、近年のベトナム人増加傾向と比例して、整っている。但し、現地(母国)との連絡等が発生した場合の言葉の障害をクリアしなければならぬこともあるので、優秀なベトナム人財の雇用を優先に体制を整えて行くことも検討してください。	B

※尚、上記の学校関係者評価・意見は、委員会当日(9/6)に出席されました外部委員の皆様方から後日、別途頂戴しました意見と評価を集約して纏めさせて頂いております。